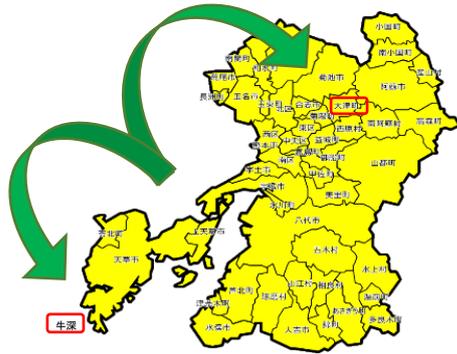


1 Team US ～地・人・もの「つくり」「そだて」「つなぐ」探究活動～



Team U 熊本県立牛深高等学校



Team S 熊本県立翔陽高等学校

牛深 ⇄ 大津 145 km
地域を越えて未来へつなぐ探究活動

2 事業概要

(1) 共同研究活動

牛深・翔陽の両校をオンラインで結び、地域課題の解決に向けた両校の研究を共有して、気づきや意見を交換しながら研究の深化(進化)を図る活動を行いました。

○オンライン情報交換会

Googleドライブやスプレッドシート内で情報を共有し、アドバイス(気づき)や新たなアイデア(発見)を視点にして、それぞれの取組みをブラッシュアップ!

見どころシート One Team事業「US」

発表タイトル	ILLUMINATIONで地域活性化!
①発表内容(牛深高校:発表3名)	
<p>① 牛深の現状</p> <p>A.過剰な観光客 B.人口減少 C.地域活性化低下 D.牛深産物の減少</p> <p>牛深には様々な課題があります(図①)。私たちは、その中の地域の活力低下に着目しました。イルミネーションを使って、インスタ映えスポットをつくり、牛深の課題である地域の活力低下を解決しようと考え取り組んできました。完成までの流れは、図案作成、素材採取、作品作り、会場設置の順で行いました(図②)。完成した作品は写真③です。もうすでに点灯開始しています。1月7日まで設置しているのでぜひ来てみてください!!</p>	<p>② 発表の「見どころ」!</p> <p>(1) インスタ映え間違いなしのイルミネーション作品! (2) 牛深の課題をもとにしたクイズやります!! (3) 私たちのガンバリ!</p>



◎OneTeamメンバーからのコメント

この資料でも、先日の発表でもとてもわかりやすく、要点を絞って伝えているのでよかったです! いろんな方々を巻き込んで、イルミネーションを作り上げた様子に感動しました!(翔陽A) イルミネーションがきれいだった。発表がユニークで面白く内容が入ってきやすかった。(翔陽B) 竹灯籠も私も作ったことがあるので竹が割れてしまうのはとても共感しました。とてもきれいで行ってみたいと思ったし、みんなが写真を撮りたくなるような作品だと思います。(翔陽C) 地域の活力低下という課題を解決するために多くの人を巻き込んで、取り組んでいるところがすごいと思いました。(翔陽D) 実際に大規模な製作があり、改良を加えながらしているのがすごいと感じました(翔陽E) 実際に地域のイルミネーション実行委員会と協力しながら活動しているところや、竹が割れてしまうという問題に対してすぐに対策しているところがすごいです。実物もとてもきれいで見に行きたいと思いました!(翔陽F) とてもきれいで実際に見たいと思った。発表が面白くて聞きやすかった(翔陽G) 発表会の時の発表はとても面白く素晴らしいかったです。地元の活性化のために自分たちにできることを考え、完成までされていたので素晴らしいと思いました。ぜひその作品を見てみたいです!(翔陽H) 発表も面白く、竹で作ったイルミネーションもきれいで実際に見たいと思いました。(翔陽I)

事例①: 「見どころシート」による中間発表(経過報告)

【U S team】

提案者 (翔陽) 高校 (電気電子) 系別

タイトル 『バイオマスな発電で地域活性化 ～ILLMINATION～』

温度差でバイオマスな発電装置



×

ILLMINATIONで地域活性化!



=

バイオマスな発電で ILLMINATION!

【補足説明】

翔陽高校電気電子科で作ったバイオマスな発電装置を、牛深高校のILLMINATIONという案を組み合わせました。そうすることにより、災害時に発電できるし悲しい気持ちになった人々をイルミネーションにより楽しませることが出来ます! 一石二鳥ではないでしょうか?!

【考えられる手立てや課題など】

電力量の不足が課題となると思う。発電装置とどのようにつなげるか、イルミネーションをどのような形とするのが考えられる手立て。

事例②: コラボレーション企画「未来のタネ」

熊本県立高校 One Team プロジェクト事業

(2) 発表会

オンラインだけでなく、それぞれの学校で行われる研究発表会に両校代表チームが参加して交流を深めました。

○令和4年12月13日(火) キャリア教育発表会(翔陽高校)



ポスターセッション形式での発表(翔陽高校)



ブース発表(牛深高校)

○令和4年12月17日(土) 総合学科発表会(牛深高校)



ステージ発表(牛深高校)



代表発表(翔陽高校)



展示作品(牛深高校)



贈呈式(醤油)

(3) 地域連携・情報発信

牛深の豊かな海の恵みを使ったラーメン開発の取組みがテレビで紹介！
新たなアイデア💡とチャレンジ🏆両校の後輩たちにつながります！



令和5年1月17日(火) KKTテレビタミ「全力応援! あすプロ」で放送!

3 未来につなぐ探究

具材と出汁に牛深の豊かな海産物を用い、スープには翔陽高校の醤油や味噌をブレンドしたラーメンの開発。新たな探究活動がスタートします。これからも地・人・ものが一つにつながる活動を目指します。



提案者 (牛深高等学校(文理総合) 系列)

タイトル『牛深ラーメンレボリューション』

翔陽高校の醤油 	×	牛深限定ラーメン具材 	=	ラーメンの進化 レボラーメン
--	---	---	---	--------------------------

【補足説明】
今回、僕が作製したラーメンの具材の課題があった。その課題を解決するために OneTeam (翔陽高校) のメンバーから「卵を利用しては？」と提案があった。また、翔陽高校産の醤油をいただくことができた。ラーメンの具材になるものを事前に漬けておき、味を染み込ませておくことで、おいしさ up! につながると考えた。

【考えられる手立や課題】
まず、至適の方法で具材をつけておく
≪課題≫
①費用が増加すること
②製作段階に時間がかかること

